



できることを

副校長 佐々木 一高

二十四節気の九節気にあたる「芒種（ぼうしゅ）」の頃となります。

「芒（のぎ）」とは、イネ科植物の穂先にある針のような突起のこと。芒種はこの芒のある穀物の種を蒔く時季であり、田植えを始める目安とされました。「稲」の語源は「命の根」という説もあります。

さて、本校自慢のビオトープ。すっとした草姿で落ち着いた青紫色をした花を咲かせるハナショウブ（花菖蒲）が見頃を迎えます。その見た目や美しさから、「優しい心」「忍耐」「情熱」を花言葉にもち、見る人の心を穏やかにしてくれます。ふと横に目を移すと、クロメダカがそろって日光の光を浴びながら、つーいついと楽しそうに追いかけっこをしています。そして、いっぱいに薄黄色の卵を抱えたお腹に、小さな命の誕生を感じつつときを忘れてしまいます。



昨年度、教育環境を見つめ直し、ハナショウブとクロメダカが大門小の仲間入りをしました。かつては誰も見向きもせず、どんな生き物がいるかも分からない、謎の榊。深く緑に濁る水や泥をバケツで汲み上げ、生き物を採取し、奇跡の復活。まさにテレビ番組そのものです。最近では、散歩する地域の方が足を止め、ゆっくりと眺めてくださり、お褒めの言葉をいただけるまでになりました。この再生劇の陰には、「子どものためにできることを……」と、携わった技術員の情熱が注がれていました。



この長く続く新型コロナ禍においても、心を癒し励まそうとする多くの人々の想いを感じることができました。JR東神奈川駅では手作り伝言板が復活したり、音楽家による演奏動画が配信されたり、医療関係者に向けてマスクとともに手紙を送ったりと、それぞれの立場でそれぞれにできることを考えて実践につなげていることが日々の報道から伝わり、その姿に感動を覚えました。

本日より学校が再開します。学びの主演である子どもたちには多くの制限がかかり、本来の学校とはほど遠い姿ではありますが、教職員一丸となって感染拡大防止に向けた安全・安心な環境づくりを粛々と進めながら、子どもの学びをできる限りの形で保障しようと考えています。

- \* 自治会エリア別による一日おきの分散登校とし、登下校の安全を確保しながら、生活リズムを戻します。
- \* 短時間授業（午前）〔一単位時間（40分、4コマ）〕を意識し、学習習慣のリズムを取り戻します。
- \* 家庭での検温を依頼したり、教室での健康観察を項目化したりと、適切な体調管理に努めます。
- \* 児童下校後、使用教室、机、いす、扉、窓、トイレ、手すり等の消毒作業を行います。
- \* トイレや水道に児童が集中しないように、時間差をつけるなどの配慮をします。
- \* 至近距離での指導場面等において、フェイスシールド等を着用することもあります。
- \* 休業中に取り組んだ家庭学習の内容については、確認や復習を確実にを行います。

最後になりますが、新型コロナ禍の状況に伴う対応につきまして、保護者、地域の皆さまのご理解ご協力を改めて感謝申し上げます。そして今後も、めだかの学校のような明るい未来につながる学校づくりに皆さまのお知恵やお力をぜひお貸しください。

## 児童・保護者の皆さんへ

いよいよ学校が始まります。久しぶりの学校で「楽しみ」に感じている子もいれば、少し「不安」に感じている子もいるのではないのでしょうか。みなさんが安心してこれからの学校生活を過ごせるよう、以下の点について学校でも声かけをしていきます。

## 児童支援専任から



- ① 毎日の検温・健康観察を行い、カードへ記入しましょう。
- ② マスクを着用して過ごしましょう。
- ③ ソーシャルディスタンスを守りましょう。
- ④ 友達の手や持ち物に触らないようにしましょう。
- ⑤ 密を避けるためとはいえ「こっち来るな!」「よるな!」など、人を傷つけるような発言はやめましょう。

学校で過ごすことのできる時間をみなさんと気持ちよく、すてきなものにしていきましょう。

ご家庭でも確認していただければと思います。ご協力よろしくお願いたします。

## 今月の「大門ふれあい農園」

### 職員で畑の準備を行いました!!



例年、4、5月に、子どもたちは夏野菜づくりに向けての準備（土づくりや畝づくり等）を行っています。今年度は残念ながら、子どもたちによる準備が無理な状況でしたので、職員で協力して行いました。子どもたちに代わって、愛情を込めて苗も植えました。大きくたくましく育ててほしいです。

### 今年度、育てる野菜が決まりました!

1年生はミニトマト、2年生はキュウリ、3年生はカボチャ、4年生はズッキーニ、5年生はピーマン、6年生はジャガイモで、6組はトマトです。そして全学年、共通で育てる野菜は、今年度もナスになりました。

今年度は昨年度のような農園活動を行うことができるか分からない状態ですが、職員のできる限りの準備をしていきます。大門小学校の特色である農園活動が子どもたちにとって、「命の大切さを学び、食育につながるような充実した活動」になるように取り組んでいきます。植えた野菜も順調に育ってきています。収穫が楽しみです。

